



独立行政法人国立病院機構  
**松江病院**  
 呼吸器病センター  
 〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <http://www.hosp.go.jp/~matsue/>  
 発行責任者  
 院長 中井 勲  
 編集者  
 事務部長 久森 勉



**日御碕灯台（ひのみさきとうだい）** [出雲大社から北西の岬に位置・当院から車で80分]

明治36年に初点灯し高さ43.65m、海面からの高さ63.30mの石造灯台です。世界の灯台100選にも選ばれ、石造灯台では東洋一を誇っています。灯台の展望台からの日本海の眺めは絶景です。

**まぐじ**

肺がんフォーラムの開催について	2	平成18年度契約交渉を終えて	12
アレルギー科が新設されました	3	防火避難訓練（夜間想定）の実施について	12
第54回肺疾患懇話会の開催	4	「しじみ会」からの俳句・川柳です！	13
病院のご案内をリニューアルしました	4	開放保育の開催について	13
医療事故情報の分析と報告に関する研修会に参加して	5	「東病棟 文化祭 盛大に開催される」	14
防犯監視カメラシステム・電子ロック錠を設置	5	指導室の末っ子児童指導員一約1年を振り返ってー	14
臨床検査精度管理調査結果について	6	院内探訪記〔無停電電源装置（UPS）について〕	15
超音波検査士認定試験（循環器）にチャレンジして	7	医療知識のクリック〔メタボリックシンドロームと臨床検査①〕	16
機能訓練室のオリジナル機器	7	永年勤続表彰	16
看護師免許を取得して思うこと	8	〔職員の紹介〕女性ライダーが行く	17
消費税の税務監査について	8	栄養管理室からのお知らせ【豆乳入り胡麻豆腐】	17
平成18年度新採用者研修を終えて	9	人事異動・新人紹介	18
看護助手研修会【芝生の経営】	10	松江病院元気宣言	19
看護の日を終えて	11	外来診療表	20
医療安全管理室からの報告「KYT」危険・予知・トレーニングを実施しました！	11		

**暑中御見舞申し上げます（職員一同）**

第1回呼吸器市民公開講演会



# 「肺がんフォーラム」の開催について

たけ やま ひろ やす  
特命副院長 竹 山 博 泰

## 第1回 呼吸器市民公開講演会

# 肺がんフォーラム



**\* 平成18年6月17日** [午後1時~3時]  
**\* くにびきメッセ3階国際会議場** [松江市学園南1丁目]

プログラム

**[第1部] 一般講演 (午後1時~2時)**  
 [1] 肺がん診療の流れ -診断と治療-  
 国立病院機構松江病院 呼吸器科医長 池田 敏和  
 [2] 肺がん診療の流れ-外科的治療について-  
 国立病院機構松江病院 副院長 徳島 武

**[第2部] 特別講演 (午後2時~3時)**  
**[胸部検診効果とCT検診への期待  
 -肺がんやアスベスト対策のかなめ-]**  
 岡山県健康づくり財団附属病院 院長 西井 研治

**[第3部] 肺がん相談 (講演終了後)**  
 無料ですでお気軽にご相談下さい

主催 /  **国立病院機構 松江病院**  
 呼吸器病センター

〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 TEL.(0852)21-6131 FAX.(0852)27-1019 ホームページ/ <http://www.hosp.go.jp/matsue/>  
 ■後援 / 松江市・安来市・東出雲町・松江市教育委員会・島根県医師会・松江市医師会・松江市町内会・自治会連合会・島根県連合婦人会・松江市連合婦人会

**小さいがんを見つけよう!**

筆者は次の事を強く予感しております。すなわち、病院が住民の方々に直接働きかけ話しかけていく啓発事業の重要性です。院内で行なわれている最先端あるいは高度な診療内容を簡潔に解り易く正しく知っていただける情報を提供することです。

このことは住民の方々にとっても大きな利益になることと信じております。

このような主旨にて、本年6月17日(土)松江市の『くにびきメッセ国際会議場』におきまして表記のフォーラムを立案させていただきました。幸い病院内外の皆様のご協力によりまして、約400名もの人々にご参加いただくことができました。

第1回の今回は「小さいがんを見つけよう」をテーマに準備しました。一般講演として当院の池田敏和呼吸器科医長に「肺がん診療の流れ」と題して、又徳島武副院長に「小型肺がんに対する外科的治療」と題して話していただきました。

特別講演として、我が国でこの

分野の指導的立場で活動されている岡山県健康づくり財団附属病院長西井研治先生に「胸部検診の効果とCT検診への期待」と題してお話しいただきました。三つの講演共、それぞれに好評でした。

全ての講演終了後、約20名の希望者に対して肺がん相談を実施し10名の医師にて対応しました。

フォーラムは大成功かつ大好評でした。後援いただいた諸機関の皆様を含めて、今回、携わっていただいた全

当院は重心・筋ジス・神経難病そして呼吸器疾患を診療の柱とする病院です。

国立医療のこれらの分野において専門医療施設として指定されております。一般診療部門である呼吸器疾患領域については、病院は日頃より病病連携、病診連携の重要性を認識し、その連携を深めるための活動を行なっております。

ところで、昨今の医療状況の変遷を眺めてみるにつけ、

ての方々に深く感謝申し上げます。

最後に二つのことを述べたいと思います。

1) 今回は第1回ということと、諸事情もあり、概してトップ・ダウン方式にて準備せざるを得ませんでした。

しかし、次回からは、各医療現場の代表の人達で準備委員会を立ち上げ準備をしていければと考えております。



肺がん相談（無料）

2) 軌道に乗れば、春は肺がん関係、秋にはそれ以外の呼吸器疾患という形で実行できればと考えております。

現在、参加者および職員の皆様から寄せられたアンケートを集計し分析する作業を行っております。

これらを踏まえ、次回以降に役立てていき、より良いイベントとして続くように願っております。



笑顔で受付の看護師長さん

## アレルギー科が新設されました。

専門職 <sup>かん</sup>神 <sup>だ</sup>田 <sup>とし</sup>稔 <sup>ひさ</sup>久

平成18年5月12日付けで、医療法のアレルギー科の標榜が承認になりました。当院では、昨年4月竹山特命副院長が就任以来、特殊外来として喘息アレルギー外来を行って来ましたが、正式な標榜科でなかったため患者紹介時に一般に広く使われている日本アレルギー協会発行の患者相談協力医名簿等へアレルギー科を表示が出来ない等の状況にありました。

今回のアレルギー科の新設により、アレルギーに関する情報発信や呼吸器診療に必須の免疫・アレルギー学的アプローチにも寄与出来るようになり、外来患者の増や病院の質の向上にも貢献出来るようになりました。

平成18年6月1日から診療日程が下記のとおり変更になります。  
(5月までは、月・火・木で行っています。)

記

喘息アレルギー外来

毎週火・水・木 9時～12時（要予約）

日本アレルギー学会専門医・指導医が担当いたします。

内 容：成人気管支喘息・花粉症、慢性咳嗽

（3週間以上持続する咳）の診察。

個人個人に合わせた予防法と日常生活指導。

患者様のご紹介は  
『病診連携室』(0852-21-6131) へお電話下さい

第54回 肺疾患懇話会の開催



『結核・非結核性抗酸菌(NTM)症の典型例と非典型例』

内科医長 小林 賀奈子

平成18年3月27日、月1回定例の第54回肺疾患懇話会を開催しました。この会は当科で経験した肺疾患症例を中心に症例呈示をする会で、主として松江市内の開業医の先生方にご出席していただいております。今回のテーマは「結核・非結核性抗酸菌(NTM)症の典型例と非典型例」でした。今回の症例は 空洞を伴う典型的な結核症例、肺炎様の画像であったが結核だった症例、画像上、結核を疑ったがNTM症であった症例、典型的

なNTM症例、結核との鑑別が難しいNTM症例、診断に時間のかかった粟粒結核例、の6例でした。当院に赴任した際に、『結核はどんな画像所見でもとり得るから』と、私が先輩医師から繰り返し言われ、そのつもりで症例をみているつもりですが、鑑別が非常に困難な症例に遭遇することはしばしばです。自戒を込めて、今回の症例を呈示させていただきました。

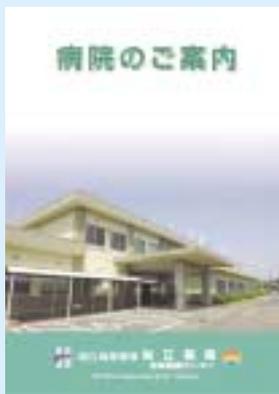


『病院のご案内』をリニューアルしました

事務部長 久 森 勉

このたび、当院の『病院のご案内』をリニューアルしましたのでお知らせします。全体は観音折り8ページ(裏表)です。表紙は病院玄関を広角レンズで撮影しました。つぎに開きますと「基本理念」「基本方針」「病院概要」「病院沿革」を掲げており、紙面全体に宍道湖と病院の全体(航空写真)を掲載しました。全体を開きますと、ページ4面に「専門医療」「一般医療」「医療サポート」「高性能医療機器」「医療サービス」を区分し各写真にて説明しています。

最後の紙面(裏)は診療案内と交通のご案内を掲載しております。職員全体でこれからの広報活動に活用しましょう!



## 「医療事故情報の分析と報告に関する研修会」に参加して

医療安全管理係長 久代玲子

平成18年3月18日から2日間、東京で開催された「医療事故情報の分析と報告に関する研修会」に参加させていただきました。この研修会は、事故原因・背景要因の分析技法（RCA分析）と対策立案についての理解を深めることを主な目的として、財団法人日本病院機能評価機構医療事故防止センターの主催で行われ、88名の参加者がありました。

「RCAの概要と実際の方法」については、財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院、副院長の柳川達生先生の講義を受けました。「RCA（根本原因分析）」とは、全てのプロセスをレビューして、原因となる要因が判るまで、「何が」「何故」の質問を繰り返し深く掘り下げることで、そして、解析は個人の行動でなく、組織・過程に焦点を当てて医療行為を改善しリスクの減少を図ることであると学びました。

その後、1日半にわたる「RCA演習」は、グループワークで2事例を実施しました。提出されたヒヤリハット報告書をもとに、その事例が発生するまでに関わった

すべての職員の動きを再情報収集して一つ一つの事象や行動をポストイットに書いて模造紙に並べ「出来事の流れ図」を作成します。そして、そこから問題点を整理、背後要因の抽出をして頂上事象を決定し、根本原因を確認して対策立案するというものです。大変エネルギーのいる作業でしたが、院内の事例も根本的な原因を探るためには、時にはこのように分析してみる事の必要性を感じました。

まずは、看護師長・副看護師長勉強会において伝達を予定（7/12）しています。そして、各部署の医療安全推進担当者とともに考え、分析して、事故防止に向けて活用していきたいと思っています。



## 防犯監視カメラシステム・電子ロック錠を設置

管理課長 すぎむらちあき 杉村千秋

当院は旧療養所型の平屋と2階建の建物が大半を占めており、病棟等への出入りは病院玄関に限らず、中央廊下等の出入口からも自由に入出入りができていた状況でしたが、今回、防犯体制の改善を図りましたので、この内容をご紹介します。

改善対策として、昼間においては正面玄関・職員出入口以外の全ての出入口を基本的に施錠しました。夜間は正面玄関以外の出入口は施錠し、職員出入口につ



防犯カメラ



電子ロック錠

いては電子ロック錠（21時に自動的に施錠、7時に自動的に開錠）を整備し、深夜帯等には暗証番号で開錠することにしました。また、正面玄関・各病棟の10ヶ所の出入口には監視カメラと管理当直室及び各病棟スタッフステーションには液晶モニターとデジタルレコーダを設備しました。

今後とも、このような防犯体制の充実を図り、患者様の療養生活の安全環境整備に努めてまいります。

## 日本医師会主催 臨床検査精度管理調査結果について

当院の評価点数 ⇒ 98.2点

臨床検査技師長 <sup>もり</sup>森 <sup>やま</sup>山 <sup>き</sup>喜 <sup>よし</sup>芳

平成17年度の標記の調査は昨年9月末から10月にかけて実施されました。この精度管理調査は昭和42年から実施されており、昨年で39回目を迎え、非常に重要な調査となっています。参加施設数は全国で2974施設となり、病院・診療所ばかりではなく、検査センター・試薬メーカー・医療機器メーカーも参加する国内では最大規模の調査になっています。

この度、調査結果がまとめられ発表されましたので報告します。

当院はこの精度管理調査で、98.2点という高い評価を受けました。

詳細は下記のとおりです。

### 【調査項目】

生化学検査は20項目 (T-BIL・GLU・Ca・BUN・UA・CRE・AST・ALT・LDH・ALP

GT P・AMY・CK・CHE・TCHO・TG・HDL-CHO・Na・K・Cl)

血液ガス分析は3項目 (PH・PCO<sub>2</sub>・PO<sub>2</sub>)

腫瘍マーカー・ホルモン検査は5項目 (CEA・AFP・CA19-9・TSH・FT4)

感染症検査は2項目 (HBs抗原・HCV抗体)

免疫血清検査は4項目 (CRP・IgG・IgA・IgM)

血液検査は7項目 (RBC・WBC・Hgb・Hct・PLT・Ret・HbA1c)

凝固検査は3項目 (PT・APTT・Fib)

### 【今回の当院の評価結果】

110テストの精度管理調査に参加した結果は次のとおりでした。

A評価 (非常に精度の高いデータ)	100テスト
B評価 (ほぼ良好な精度のデータ)	10テスト
C評価 (やや精度の悪いデータ)	0テスト
D評価 (精度が悪く改善を要するデータ)	0テスト
評価点数	98.2点

この度の精度管理調査の参加全施設での平均点は92.3点でありましたが、精度管理がほぼ良好といえる96点以上を取得した施設は全体の43.6%でありました。旧国立療養所グループでは105施設が参加し、その平均点は95.7点でありましたので、参加全施設での平均点92.3点よりかなり高いレベルにあったと言えます。当院は98.2点で105施設中の27位の成績で、毎年高いレベルを維持しています。

しかし、この精度管理調査は決して点数を競うものではなく、日頃の精度管理がきちんとでき精度保証されたデータとなっているか、また自施設の測定方法が全国的な方法と乖離していないか、各学会が勧告した方法であるか等を検証する機会でもあります。

今後も引き続き精度の向上をめざし、患者さまに信頼される検査データを提供出来るようにすると共に、検査データの標準化や共有化 (施設間差是正) に向けても一層努力していきたいと考えています。

## 園児募集

院外者の園児も募集しています。  
お気軽にご相談ください。

国立病院機構松江病院 **さくら保育園**  
電話21-6131 [内線206 (杉村)・508]

随時募集



## 超音波検査士認定試験（循環器）にチャレンジして

研究検査科 医化学主任 おおいしばし のり こ子  
大石橋 典 子

私が試験にチャレンジしようと決めたのは去年の中国地方の国立病院臨床検査技師協会で若い人たちが忙しい仕事の中でも認定試験に向けて夢をもって頑張っている姿を見たからです。

私も40歳後半にして、今自分に何ができると考えたとき、

- 1) 自分の今までの力を試してみたい。
- 2) 後に続く後輩の少しでも役に立ちたい。
- 3) 患者様に質の高い医療を届けたい。
- 4) 私の子供たちには、人間やる気になったら年齢に関係なく遅すぎることはないことを教えたい。

などと思い、試験に向けて手続きをしました。

認定医の先生に推薦をお願いしてからは、症例をまとめたり慌ただしく時間が過ぎていきましたが、仕事も毎日遅く、勉強の時間はほとんど電車の中で本を読む程度で、たまの休日には当時受験生の娘もおりましたので、いっしょに勉強していましたが、長女からは二人とも競争のように寝ていると言われるほどでした。

この歳になって無理かなと時々思いましたが、試験に向けて勉強することで、もう一度色々な症例を深く見直すことができました。最初はわけのわからない公式も勉

強しているうちに少しずつ解けてきました。たとえ不合格になったとしても勉強したことに無駄はないと思いました。



今後とも頑張ります！

試験を受けるにあたっては色々な人にお世話になりました。浜田医療センターの循環器科の先生方、他施設の先生、いっしょに働いている検査室の皆様、他院の検査技師の皆様、メーカーの方、そして私を支えてくれた家族のおかげで無事合格できました。本当にありがとうございました。

四月からは松江病院で働かせていただくことになりました。合格してからが出発点になります。松江病院で、先生方、検査室の皆様にご指導していただき、循環器はより深く、他の超音波検査はあらたに勉強していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



## 機能訓練室のオリジナル機器

リハビリテーション科 運動療法主任 うだやま とし こ子  
宇田山 俊 子

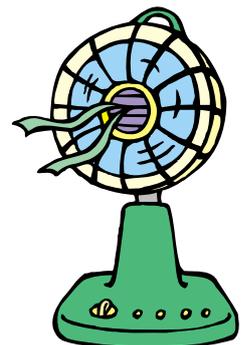
皆さん、リハビリの訓練室に整備されている機器にどんなものがあるかご存知でしょうか。鎮痛目的で使われるホットパックやマイクロ波治療器などの温熱機器、立位や歩行練習のために使用される傾斜テーブルや平行棒、そして全身運動ができる自転車エルゴメーターやトレッドミルなどがあります。

そのなかでも当院の訓練室には他の施設では目にすることのない機器がいくつかあります。上肢促通訓練器・上肢挙上運動装置・座席昇降式自転車訓練器などですが、名前からどんなものか想像できますか？

それらは二十数年前、当時のリハビリ職員によって開発・製作されたもので、現在も松江病院の訓練室で活躍している機器です。リハビリ機器メーカーにより製品化されたものもあるそうです。麻痺や筋力低下のために自分の力で十分な運動が出来ない患者さまが、1人でも自

由に訓練できるようにと考えられました。患者さまの体に合わせて、握る位置や運動範囲などを細かく調節できるように工夫されており、抵抗やスピードをセットし開始スイッチを押すと自動的に動き出し、運動を補助します。

患者さまからは「しっかりと運動したようで気持ちがいい」「自分だけの力では動かしにくいのが楽に運動ができる」などの声が聞かれます。これらの機器と同様の機能を持つものは現在メーカーでは製造されておらず、今後故障した場合修理困難となるのが心配です。患者さまのためにと製作されたこれらの機器をみると、先輩方の熱意を感じ、その姿勢を見習わなければいけないなと思う今日この頃です。



【祝・合格おめでとうございます！】

## 看護師免許を取得して思うこと

東5病棟 看護師 **山崎美雪**

平成16年厚生労働省の看護師養成所規則で通信制による看護師進学教育がスタートし、2年間の通信教育を経てこの春卒業、看護師国家試験にも無事合格、看護師免許を取得することができました。学生生活を振り返ると、2年間働きながら27科目と7領域臨地実習の合計62単位の取得は苦労も多かったのですが、実務経験が基となり丸覚えではなく、実際の場面を思い描きながら学ぶことも多く、臨地実習では根拠ある看護の重要性の気づきや、日頃の看護を振り返る学び多い機会となりました。

休みがとれず退職に追い込まれるクラスメートもいる中、私はとても恵まれていました。特に2年次はスクーリングと臨地実習が組み込まれており、その度に年次休暇申請するのが心苦しかったのですが、黒田看護師長をはじめ病棟スタッフの方々には、いつも温かい励ましの言葉、忙しい中、快く送り出していただき感謝の気持ちでいっぱいです。松江赤十字病院への実習受け入れの依頼、国家試験前の長期休暇にむけて奔走していただいた加納看護部長本当にありがとうございました。他にもいつも気にかけて声をかけ応援してくださった若松副部長をはじめ、同僚や友達・家族など、本当にたくさんの人に支えられ長かった2年間のりきることが出来ました。国試前の休暇中は模擬試験や過去問の復習、学校から送られてくる対策問題集に集中して取り組むことが出来、これが合格につながったといっても過言ではありません。

合格発表の日、パソコン画面の合格者に自分の受験番号を見つけてもまだ不安で何回もチェックしました。合格の知らせにももちろん家族は喜んでくれましたが、それにも増して加納看護部長、若松副看護部長には自分のことのように喜んでいただき、東5病棟の職員の方々、中井院長先生、久森事務部長、松江赤十字病院の佐々木副看護部長をはじめ看護部の方々などたくさんのお世話になった皆様より祝福とねぎらいの言葉をいただきました。

今回長年の夢であった看護師免許を取得しましたが、これがゴールではなく新たなスタートとして、患者様のためにより看護が提供できるよう研鑽を積み、諦めることなく色々な事にチャレンジしていきたいと思えます。



満面の笑みです！

## 消費税の税務監査について

企画課長 **高田幸春**



去る4月24・28日5月1日の3日間、平成17年度における病院の収入・支出のすべての消費税について、課税・非課税・不課税の区分整理を的確に実施しているかどうかの税務監査が機構本部の契約している民間税務事務所により実施されました。監査における税理士の講評では

『全般的に良く事務処理されており、各担当者の的確な対応には感心しました。』のお褒めの言葉をいただきました。事務部もこれを踏まえ、更なる病院経営の業務改善を遂行してまいります。



## 平成18年度新採用者研修を終えて

第6病棟 看護師 <sup>かど</sup> <sup>わき</sup> <sup>じゅん</sup>  
門 脇 純

最初の2日間の研修では、国立病院機構の職員としての心構えから、社会人として必要な接遇について学びました。

学生ときは、病院の経営状態のことなど気に留めたことは少なく、自分には遠い話だと思っていました。しかし、コストを考えるとということは、自分が患者様に援助を実施するときの要領と関係してくると感じました。

また自分が健康でなければ、患者様に対して十分な援助が出来ず、そのときが事故につながり易い条件となってしまう。仕事とき、休むときのメリハリのある生活をして健康を保っていききたいと思います。

また接遇として、自分が患者だったらどう接してもらいたい、何と言ってもらいたいかを常に考えて患者様に接していききたいと思います。患者様の心理状態を考慮した関わりを大切にしていきたいと思っています。

後半2日間の実技研修では、副師長さん方に親切丁寧に一つ一つの手技を確認して頂き、本当に嬉しく感じました。臨床で実際に使う道具を使いながら、マニュアルに沿って丁寧に教えて頂いたことで、自信まではいかないかもしれませんが、これからの私を助けてくれる大きな力となることは確かです。私は、清潔操作の時にすぐ緊張して手が震えてしまい、苦手意識を持っています。それらも研修中の具体的な手技を行うことを通して、ゆとりを持って患者様に接することができるかと実感しました。

今回はこのような機会を頂き、ありがとうございました。

東5病棟 看護師 <sup>いし</sup> <sup>はら</sup>  
石 原 ひとみ

国家試験の合格通知証が届き、四月から国立松江病院の看護師として働くことに大きな不安と、自分が思い描く看護ができるのだろうか、様々な思いを胸に採用日を迎えました。院長より辞令書をいただき、身の引き締まる思いの中、基本理念である「看護師として知識・技術・人間性を高め、心の通い合う医療を目指すこと」を話していただきました。学生気分が抜けずどこかで甘えがある私も、松江病院の一職員としての自覚や責任を持たなければならないのだと実感しました。

研修では、接遇や看護業務・看護方式・就業規則など講義形式で丁寧に教えていただき、初めて耳にする内容も多く首をかしげることもありましたが、今後自分の言動を振り返り学んでいきたいです。研修の技術演習では、マニュアル通り一つひとつ確認し、一人ひとりへ助言をしていただきました。手順通りを行うことで正確性・安全・安楽に患者様へ技術を提供することの重要性を改めて学んだと同時に、手順通りを行うことの難しさも感じました。

新採用の方と話す機会もあり私と同じ心境にあることや、支えてくださる師長さんをはじめ病院職員の方がお

られるという心強さも実感できました。配属病棟で筋ジストロフィーの方の理解も一からのスタートで、この理解の難しさもあると思いますが、頑張っていきたいです。日々忙しさの中で自分の目指すものやどんな看護がしたいかという思いを見失わず患者様と関わっていきたいです。

東2病棟 看護師 <sup>なか</sup> <sup>むら</sup> <sup>さち</sup> <sup>こ</sup>  
中 村 幸 子

今回、新人研修を受けて病院全体で看護手順や院内安全管理などがマニュアル化されており統一されていると思いました。看護支援システムではザウルスを用いることにより、患者様の情報を迅速に処理できること等の講義を受けました。その一方、決められた項目しか情報が入力できないので、いつもと違う患者様の言動やその時のケアがあればカルテに記録し、伝達していく必要があると思いました。

講義の中でよく言われたことは過去の医療事故の事でした。看護手順のマニュアル化、看護支援システム導入により安全に看護を提供する環境はそろっています。医療事故を起こさないためにも一つ一つ確認し、正確に看護を提供していきたいと思っています。

看護技術については看護学校で演習をしたり実習で実施したこともありましたが、技術にはあまり自信がありませんでした。しかし、演習をしていくとグループメンバーも同じような所が苦手だったので、メンバーの技術を通して客観的に見ることができ、とても勉強になりました。指導していただきました副師長さんは一人ひとりに、基本に沿った指導や現場での方法を教えてくださいました。そのことで病院で働くことの実感がわいてきました。

松江病院の特徴は、重症心身障害者医療や神経・筋疾患医療を行うため長期に入院されている患者様が多いです。特に私が配属になった東2病棟は重心病棟で患者様それぞれができる表現方法が異なるし、明確に訴えられない方もいらっしゃいます。患者様の合図を見逃さないように観察を行い、責任を持って看護を提供して行こうと思います。



院長の「当院における医療のあり方」の講義

# 看護助手研修会【芝生の経営】

事務部長 ひさ  
久 もり  
森 つとむ  
勉

今年の4月で独立行政法人国立病院機構として3年目をむかえました。

診療報酬の引き下げ等で経営環境は一段と厳しさを増しています。このような時期こそ、職員全員が経営参画の意識を持ち『やる気』を高めていくことが一番大事です。今回は、職場の最前線で奮闘されている看護助手15名のみなさんに参加していただき5月24日に院内研修室で開催しました。みなさん、最初は発言を遠慮していましたが、徐々に活発な意見をだされ、有意義な研修となりました。研修生の意欲的な研修態度が講師の私の胸を大きく打ちました。

それでは、各研修生の感想文のなかから、紙面の都合で二面のみ掲載させていただきます。

## 感想文

東5病棟 療養介護長 かど  
門 わき  
脇 かよこ  
香代子

今回の研修の内容は、ゴルフ場で芝生造りを仕事とする人達の話で、仕事に対してプロ意識を持ち、情報、知識、責任感、チームワーク、信頼感を持って仕事をすればよい芝生が出来、ゴルフ場のお客様に喜ばれる。その結果、ゴルフ場の経営にも参画することになる。よい仕事をするには、家族の協力も必要となる、という話でした。私達に質問され、それに答えながら講義に加わるという形で受講しました。

私達の場合は、ゴルフ場が病院、芝造りが助手業務、お客様が患者様であると理解しました。職員として、看護助手として患者様に満足してもらうためのよい仕事とは何なのか？ 毎日の定期業務を安全に的確に処理し、病棟の流れを見ながら、何をしなければならないのか、患者様への接遇は、などなど日頃の私の行動を反省して考えたら頭の中がいっぱいになりました。そして、考えた結果、小さいことからでも実行していけばよいのではと思いました。

時間に追われてついつい出る愚痴を言わないようにしましょう。業務の中に無駄な動きはないか、工夫してみよう。車椅子患者様と1対1で接する時は少し身をかがめて話す、とか心に留めて実行してみようと思います。

今までは助手が経営に携わるのは、消耗品、節水、備品等などにしか考えが及びませんでした。患者様に満足してもらうことでも経営参画していると教わり、ちょっとびっくりしました。研修を受け“自己の質を高め、人間性を養い自分自身の財産にして下さい”と、久森部長の言われた言葉を思い出し、何年たっても日々勉強だと思いました。

第10病棟 看護助手 さ  
佐 とう  
藤 み  
美 え  
恵

率直に言いますと、私はパート職員なので経営に関する研修への参加を疑問に思っていました。利益、経費削減、前年比など数字的なものを打ち出されるものだと思っていたからです。ところがそうではなく、私

は今回の研修を働くことへの意識改革を図るものだったと考えます。

私は看護師を目指すが故に、活きた現場に触れたい思いでこの職に就くことを望みました。今までは「勉強させてもらっている上に給与を貰っている。」という気持ちでいましたが、研修を受け、たとえパートであっても、給与を貰う以上プロであることを意識しなければならないのではないだろうか、と思い始めました。そして研修の内容を改めて考え、私が病院経営に参画するにあたってすべきことの答えは「陰日向なく働く」ということです。しかし、病院という性質上「時間内にこなす」ことよりも「安全」が求められると思います。それにつき、これから介助などの技術的な勉強にも積極的に取り組みたいと思います。加えて、職場における人間関係を円滑に保つ工夫をすることです。

病棟の看護師さんの仕事は終わりのない駅伝のようであり、チームワークが最も重要なものだろうと思われれます。私もこの輪を手本とし、より良い人間関係を築き上げたいと思います。

今回の研修で私が得たものはプロ意識です。末端で働くパートでも、仕事に誇りをもって励みたいと思います。又、こうした気付きを得たことで、研修時間を与えられたことにも感謝したいと思います。



意欲的な研修態度

## 「看護の日」を終えて

第6病棟 看護師 藤原知恵

今年も5月12日に、看護の日の催しが行われました。私は、実行委員の一人として携わりました。「看護の心をみんなの心に」というメインテーマのもとに、健康相談・栄養相談・薬剤相談が行われました。

私は、イベントの案内と誘導係を担当しました。外来に通院される方や病院の職員の方々に声を掛け案内をしました。イベントにこられる方々は、最初はまばらでしたが時間がたつにつれ多くなり、健康相談の各種身体測定には小さな行列ができるほどでした。中でも骨密度の測定は、普段できないということもあり、多くの方が利用されました。参加された方の中には、「たまには体の事も気を付けなくてはね」、と話されたかたもいらっしゃいました。会場には季節の花々が並び、訪れる方の中には「きれいだね」との言葉も聞かれました。

普段、多忙をきたす業務の中、患者様とゆっくり関ることは難しいことです。今回、看護の日の催しを通し、患者様と向き合いゆっくりと関ることで改めて看護というものの大切さに気付かされました。看護の日の実行委員に携わせていただきとても良い経験ができました。

最後に、今回ご協力いただきました皆様に、感謝いたします。ありがとうございました。



### 医療安全管理室からの報告

## 「KYT」危険・予知・トレーニングを実施しました！

医療安全管理係長 久代玲子

6月5日、看護部教育会の「安全管理研修会」において、「K（危険）Y（予知）T（トレーニング）」を活用した研修会を実施しました。「KYT」とは、建設現場で働く人達の身を労働災害から守る為に創られたもので、事故の未然防止対策の行動化を進めていくためのプログラムです。2～3年前から医療の中にも取り入れられるようになりました。危険予知能力が育つことによって、危険因子に配慮した仕事のやり方や事故防止対策が自然にできるようになることを目指します。26人の参加者が、ある場面（絵や写真）を見て、そこにどんな危険が潜んでいるかを考え、賑やかにグループワークしました。各グループとも素晴らしい感性の発表内容でした。是非、その感性を、色々な場面で口に出していただいて、現場に潜む危険因子を察知するために活用し、事故防止に役立ててもらいたいと思います。

こうなる前に…



### 医療事故防止標語

「思い込みで 進む自分に 赤信号！」

平成15年院内募集標語より

## 【平成18年度契約交渉を終えて】

企画課契約係 **ち だ こう じ**  
**地 田 浩 二**

「来年度の契約をすべて見直す！わしも交渉に参加するぞ!!」ちょうど去年の今頃、久森事務部長の威勢のよい声が私たちの耳に入ってきました。

当院の契約期間の大半は国立病院時代と同様一年間となっており、毎年1月～3月に掛けて各業者との交渉に入ります。そして交渉の結果、両者の合意した額が新年度の契約価格となります。契約の種類には医療機器の保守から薬品の購入、院内の清掃業務など様々なものがあります。

昨年12月、事務部長をはじめ業務班長、業績評価係長、私の4人で本格的に交渉の準備に入りました。まず、係長が各業者と連絡を取りながら交渉日程を調整し、その後事務部長の承諾を得て日程を決めていきます。それと同時に企画課では交渉に必要な資料を作成します。

年が変わり、いよいよ交渉が始まりました。3ヶ月間ほぼ毎日、両者が合意するまで何度も繰り返し交渉を行い

ます。交渉時の部長室は常に緊張感で張り詰めた空気でした。

こうして早い時期から準備をし、真摯な態度で交渉したことで、各業者からの協力を得ることが出来、ほとんどの契約で金額の削減を図ることが出来ました。「どんな相手でも常に真摯な態度で同じ目線で接すること」これが部長の信念です。今回の契約交渉を通して私の中でもこの言葉がとても貴重なものとなりました。

平成18年4月に診療報酬改定が行われ、当院においても収入が減少してきます。いかに支出を減らし、質を保つことが出来るかがポイントの1つとなります。今回の契約交渉に参加し、経費削減の重要性、相手に合意してもらうことの難しさを改めて感じる事が出来ました。この経験を今後の糧にして活かしていきたいと思います。



## ○ 防火避難訓練（夜間想定）の実施について

くすのき **楠** **たくみ**  
庶務班長 **巧**

新緑も映え、風薫る先般5月17日に、春季の「防火避難訓練」を実施しました。

今回は夜間想定ということで、勤務者の少ない121時頃にサービス棟調理室から突然出火し、院内巡視中の当直者が発見し、事務当直室に知らせるとともに火災報知器のボタンを押して全館へ知らせ、消火器にて初期消火を行いました。

非常放送により院内勤務者が、また緊急連絡網により院内宿舎入居者が、消火器を手に火災現場に直行・消火し、当直医師・当直看護師長の指示により患者避難を優先第一に行い、迅速対応にて模擬患者を無事全員、防災対策本部の避難場所まで避難させました。

訓練実施後に松江消防署から、「大変迅速に行動され、時間的にも問題ありません。」との講評がありました。

した。

今後もこのような訓練を反復して行い、非常時に際して臨機応変の行動ができる職員の育成を図って参りたいと思います。



模擬患者を無事に全員避難

## 盗 難 防 止

退庁の時には  
施錠の確認を！



## 禁 煙

当院の敷地内は  
禁煙です！



# 『しじみ会』からの俳句・川柳です！

作業療法士 <sup>たて</sup>立 <sup>いし</sup>石 <sup>よう</sup>葉 <sup>こ</sup>子

桜見た 大人の世界 兎の世界  
帯石会長の句

田植え終え 夕日に揺れる 早苗かな  
となりの住人の句

笹ユリの 匂いにさそわれ 一休み  
やどかり氏の句

もぎたての 大きなそら豆 美味しいね  
永島氏の句

釣り自慢 竿がうねるよ 戦いだ  
式部氏の句

母の日に 花が届いた ありがとう  
岡氏の句

紫陽花は 雨に打たれて 美しく  
「K」氏の句

幼な子の 植えし田の面に 鷺一羽  
須山氏の句

『しじみ会』は当院に入院されている筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者様が俳句・川柳などを楽しみ、療養の励みにして、お互いに思いやりの気持ちを持ち、仲間の輪を創る気楽な楽しい会です。現在はベット上の療養生活であり、パソコンを身体の一部で操作して、過去の生活を思い出され作品にしています。

6月よりHITACHI『伝の心』ユーザー紹介ホームページに『しじみ会』を掲載しております。  
[http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/acce/products/body/denno\\_o/user.html](http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/acce/products/body/denno_o/user.html)

多数の作品の中から、紙面の都合で各人1句の掲載とさせていただきます。なお、掲載選考につきましては久森事務部長にお願いしました。



## 開放保育の開催について

5月23日に、園外のお友達を招いて開放保育を行いました。

3人のお友達が来園してくれたのですが、あいにくの雨で、予定していたシャボン玉遊びは中止。代わりに、遊戯室にて絵の具で絵を描いて遊びました。

いつもと違い、大きな紙に描けるとあって、さくらの子ども達は大はりきり!!お友達は、知らない場所で年齢が低いこともありモジモジ...でしたが、お母さんの陰から様子を覗いながら参加してくれました。

そんなお友達も、しばらくして少し落ち着くと、部屋の探索開始！好きなおもちゃを出したり、窓から庭を眺めたり 遠慮気味だったお母さん達も、保育士と子育てについて話したり、子ども達に絵本を読んでく

さくら保育園 保育士 <sup>あ</sup>足 <sup>だち</sup>立 <sup>ひとみ</sup>瞳

ださったりと、リラックスして自由に過ごしてもらえたようでした。短い時間でしたが、楽しい充実した時間だったと思います。今月もたくさんのお友達が来てくれますように？

6月は七夕飾り作り、7月は夏祭りを行います。ぜひお子様と一緒に遊びに来てください。



平成18年 交通安全年間スローガン  
**反射材 あなたの命の 守り札**

## 「東病棟 文化祭 盛大に開催される」

療育指導室長 <sup>すず</sup>鈴 <sup>き</sup>木 <sup>かず</sup>一 <sup>お</sup>男

6月4日(日)に当院デイケア棟体育館に於いて、東1・2の重心病棟と東3・5の筋ジス病棟合同企画で催しました。第一部は「展示・即売」で、今年は松江市内の作業所、福祉施設、養護学校等から応募(出店)を募りましたところ、各々の特徴ある品物が集まりました。模擬店も例年通りの出店数(内容)で、ボランティアさんと一緒に患者さんや家族の方が頑張りました。お陰で院外の出店の関係者の方も沢山来院していただき肩が触れあうほどの賑やかな会場になりました。嬉しいことです。第二部はボランティアさんによる「よさこい踊りやライブ」があり、よさこいのお揃いのはっぴで躍動感ある動きやかけ声は観客の皆さんから「素晴らしいなあー・すごいなあー」という声が聞かれました。高校生や大学生と患者さんによるラ

イブも思ったほど大音響ではなく、心地よい音の世界に包まれました。最後に東5病棟の西坂実行委員長から「今日は沢山のひとと触れ合い沢山の経験ができました。少し疲れたけど楽しかったです。皆さん、手作りの文化祭をありがとうございました。」と挨拶がありました。



## 指導室の未っ子児童指導員 — 約1年を振り返って —

療育指導室 児童指導員 <sup>お</sup>小 <sup>の</sup>野 <sup>みち</sup>道 <sup>こ</sup>子

就職して10ヶ月が過ぎました。当初は、児童指導員としての業務内容を覚えるというよりも、新社会人として社会に出るといことへの厳しさや職場に慣れることの難しさを痛感しました。常に緊張して周りを見渡すこともできず、自分の仕事とただ必死に向かい合っていたように思います。今でも、まだ右も左も分からなく先輩指導員の背中に、やっとなついていく状態に変わりはありませんが、そのような中で少しずつではありますが、児童指導員としての自分がどのような役割を果たしているのかを客観的に見ることができるようになりました。日々の療育活動、季節の行事・外出行事の起案・実施、個別指導、家族支援等を行いながら、患者さんの生活がより楽しく、より豊かになるように、指導員として自分の役割を日々考えながら関わっています。

又、今年の4月より障害者自立支援法が施行され、個別支援プログラムの作成等で、患者様にとって最も良いサービスを提供する為に、ますます医師や看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士等と指導室の連携、協力が重要になると思います。

更に、法律施行に伴いケースワーカー的業務も大変に多くなり、家族の方に成年後見人手続き等の面談や電話説明等をする機会が増えていきます。それらの対応の際に、相手に理解をして頂けるように話すことの難しさも痛感しています。

これからも日々学ぶ気持ちを忘れずに、色々な研修会等にも積極的に参加しながら頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、現在の私が何より心がけているのは、やはり笑顔をやさやかに、楽しいこと嬉しいことを患者様と一緒に共有できる指導員でありたいということです。

今後も職員の皆様のご指導をよろしくお願い致します。



## 無停電電源装置 (UPS) について

電気士 安 達 孝 義

院  
内  
探  
訪  
記

平成12年3月、人工呼吸器の安全性向上の為50KVAのUPSが導入された。今回このUPSの機能について簡単に説明したいと思いますが、その前にまず皆さんも御存知の様に電気には交流と直流がありますが、大きな違いの一つとして、直流はバッテリーに電力を蓄える事が出来ますが、私達が日常使っている交流は一瞬たりとも蓄えておく事が出来ません。UPSはこの直流の特徴（電力の保存）を利用したものであります。

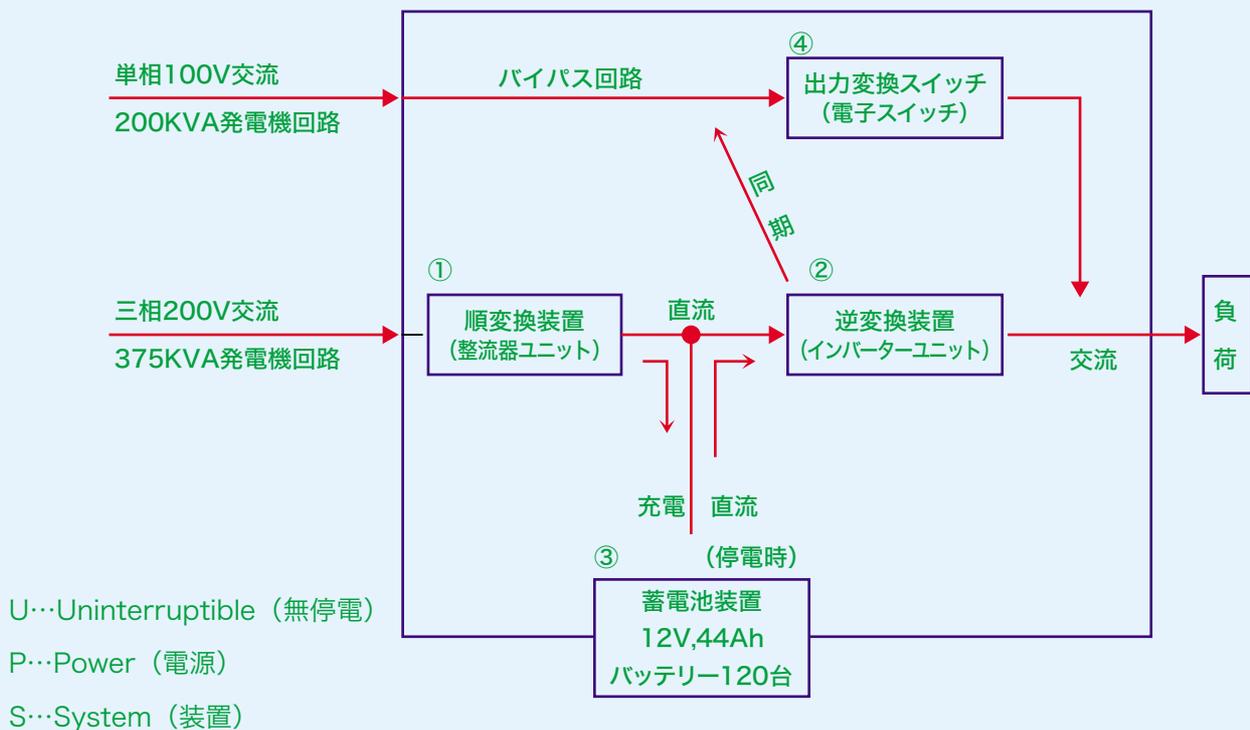
この事を下図に従って説明しますと、電力会社からの送電がストップして停電になると、復電までの間、発電機を廻して電気（交流）を得なければなりません。しかし発電機は回転機器である為、起動から送電までの間（回転数が安定するまで）、どうしても送電空白（13～15秒、場合によっては60秒）が生じ、これが重症の患者さんにとって大きな問題となる訳です。

通常時は、図の順変換装置で交流を直流に交換し、の蓄電池装置を浮動充電しつつ、の逆変換装置で再び交流に逆変換して負荷へ送電する。

停電が発生すると、の順変換器はその機能を停止し、に代わってのバッテリーから直流電力が無瞬断での逆変換器に流れ、これを交流に逆変換して送電するので、負荷は一瞬たりとも停電することはありません。のバイパス回路は、出力変換スイッチを有した避難回路とも云うべき回路で、の逆変換器そのもののトラブル、あるいは負荷の一時的な過電流に対して無瞬断で、バイパス側へ自動移行させて負荷の停電を未然に防ぎます。この様に停電の無い安定した交流電力を供給するのがUPSなのです。

現在、UPSの送電先は、①病棟（緑色の無停電コンセント、看護支援システム、ナースコール）、②第一手術室の電源、③医事コンピューター室の電源で、トータル負荷は7～12Kw程度です。UPSへの入力がある程度ストップしても、12Kw負荷で約2時間（115分）送電を続ける事が出来ます。UPS本来の使い方とは数秒から数分程度の停電保障であって、長時間の保障を目的としたものではありませんが、現在の負荷を維持するならば2時間の送電は保障され、これは当院の保安体制にとって非常に大きいと装置と考えます。

U. P. S. 50 (KVA)



🔗 (医療知識のクリック (研究検査科))

メタボリックシンドロームと臨床検査 (1)

血液中の「善玉物質」「悪玉物質」

副臨床検査技師長 福谷俊二

コレステロールに「善玉コレステロール=HDLコレステロール」「悪玉コレステロール=LDLコレステロール」があるのはよく知られていますが、脂肪の代謝においても「善玉物質」「悪玉物質」があることが最近の研究で明らかになってきました。それは「アディポサイトカイン」と呼ばれる生理活性物質です。脂肪を意味する“アディポ”と、細胞の“サイト”、そして作動因子を意味する“カイン”を組み合わせた造語です。皮下や内臓に存在する脂肪細胞は過剰なエネルギーの貯蔵庫としての役割の他にも様々な生理活性物質を作り出すことが最近明らかになり、この脂肪細胞から分泌される生理活性物質を総称してアディポサイトカインと言います。

アディポサイトカインには動脈硬化を予防する「善玉アディポサイトカイン=アディポネクチンやレプチンなど」と動脈硬化を促進させる「悪玉アディポサイトカイン=PAI-1、TNF- など」あります。

アディポネクチン：インスリンの働きを活性化させる作用がある

レプチン：食欲を減らすと共にエネルギー消費を増加させる働きがある

PAI-1 (Plasminogen activator inhibitor

type-1)：増加すると血栓を起こしやすい

TNF-α (Tumor Necrosis Factor)：増加すると血管に炎症を起こしやすい

正常な状態においては悪玉と善玉のサイトカインはバランスよく分泌されていますが、内臓脂肪が蓄積した状態では善玉アディポサイトカインの分泌量が減少し、悪玉アディポサイトカインが過剰に分泌されます。このアンバランスが生活習慣病を招くと共に、動脈硬化を進行させると考えられています。

善玉アディポサイトカインであるアディポネクチンは血圧の上昇や高血糖、血中脂質の上昇、そして悪玉アディポサイトカインなどによって傷つけられた血管の修復をするよう作用する働きがあります。脂肪を蓄積して太った脂肪細胞は善玉のアディポネクチンの合成をサボるだけでなく、悪玉のアディポサイトカインを過剰に合成します。従って、肥満した脂肪細胞が多くなりバランスが崩れると、血管が傷つき様々な障害が起こる可能性があります。

現在はまだ血液中のアディポネクチンを一般の医療機関の検査室で測定することはできませんが、研究用試薬もできていますので、近い将来に検査室で簡単に測定できるようになると予想されます。

～ 多年にわたる勤続、おめでとうございます。～

永年勤続表彰

さる4月21日に会議室において、独立行政法人国立病院機構永年勤続表彰の伝達式が行われました。院長から今から20年前・30年前の当院の状況を振り返り、永年勤続者に対する慰労と今後の病院運営に関する激励の挨拶がありました。

なお表彰された方々は、次のとおりです。

【30年以上】

- ・専門職 神田 稔 久
- ・准看護師 福頼 礼子
- ・保育士 木村 洋子

【20年以上】

- ・看護師長 山藤 美穂
- ・看護師 米本 景子
- ・車庫長 木村 肇

(敬称略)



職員の紹介

女性ライダーがゆく

事務部長 ひさもり つとむ  
久 森 勉

夏になると、太陽の照りつける美しい海岸ロードや緑あふれる曲線の山岳ロードを、お腹の底に響くエンジン音とともに快走するオートバイをよく見かけますね。特にヘルメットから長髪を風になびかせ、細身の身体で大きな鉄の馬（オートバイ）を軽々しく操る女性ライダーは男性の羨望のまです。

今回ご紹介する職員は、このように大型バイクでツーリングを趣味としている事務部企画課の深田麻里子さんです。毎日の経理業務を的確に遂行しているベテランの女性事務官です。

ある日、昼の休憩時間に彼女の席のパソコンに目をやると、画面のスクリーンセイバー（焼き付き防止）に女性ライダーの写真が出ていたので、思わず「オートバイに興味があるの？」と聞きますと、彼女は恥ずかしそうに小さい声で「はい」と控えめに一言答えてくれました。このように、もの静かな彼女がオートバ

イに興味があるとは意外でしたが、はなしの流れで「バイクを持っているの？どのようなバイクなの？」と再度聞きますと、笑顔満面で「ホンダの900ccに乗ってます」と答えましたからビックリです。排気量900ccと言えば白バイ並の大型バイクですからね。おとなしい彼女にこのようなパワーが潜んでいるとは何とも頼もしい限りです。それからは、折に触れてバイクでのツーリングの話をしませんが、昨年の夏にバイク仲間と6日間の日程で北海道へツーリングを敢行したと聞いたときは、大きな驚きとともに、趣味としてのスケールの大きさに、ただ、ただ、羨ましい限りの思いでした。また、将来はバイクの王者であります『ハーレーダビットソン』を購入する計画を明かされた時には、一言ではありますが「交通事故には充分に気をつけてくださいよ。」と言うのが精一杯でした。

私も、恥ずかしながら30年前には、バイクに懲りに懲りまして、毎週の土日曜日には仲間とツーリングに出かけていました。ハンドルから直接に伝わってくる路面の凸凹とエンジンの振動がお腹に響く快感はたまらなく、全身に風を受けながら、行き交うバイクとのピースサインで「風になった気持ち」を体験しておりました。今思い出すのは、まだ瀬戸大橋が完成していない時に、がむしゃらに単身でフェリーを乗り継ぎ、香川県から未知の土地の島根県の松江までツーリングした思い出です。今はその松江病院でお世話になっておりますことを考えますと、巡り合わせの不思議さを感じております。



北海道の富良野

栄養管理室からのお知らせ

豆乳入り胡麻豆腐

栄養士 香田早苗

胡麻は昔からすぐれた滋養強壮食品として知られ、疲労回復、美肌、老化防止、便秘の解消など様々な効果が認められています。この胡麻をより消化吸収しやすい形のペーストとして使い、水を使わず豆乳に置き換えヘルシーで食べやすい硬さにゼラチンで固めたのが、栄養管理室自慢の豆乳入り胡麻豆腐です。

患者様に喜んで頂けるよう日々試行錯誤しております。



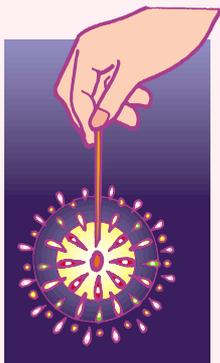
# “新採用医師です” よろしくお願ひします!

小児科医長 <sup>とき</sup> 齋 <sup>た</sup> 田 <sup>やす</sup> 泰 <sup>こ</sup> 子



5月1日に赴任致しました、小児科の齋田泰子と申します。平成6年4月から9年間、松江病院に勤務したあと、山口県周南市にあります鼓ヶ浦こども医療福祉センターに勤務していましたが、この度、再び松江病院に戻ってまいりました。病院の廊下を歩きながら、まだ時々、自分がここにいることを不思議なこのように感じています。

医局の医師不足のため、小児科は2人体制となり、皆様大変ご心配をおかけしてしまいまして、申し訳ございません。微力ではありますが、松江病院の重症心身障害児(者)・筋ジストロフィーの医療が充実していくよう、努力していきたいと思っております。ご指導・ご協力くださいますよう、どうぞ宜しくお願い致します。



循環器科医長 <sup>いし</sup> 石 <sup>かわ</sup> 川 <sup>しげ</sup> 成 <sup>のり</sup> 範



4月から循環器科医長として勤務させていただいております。大学病院での研修医としてスタートを切った医者人生も、はや20年目の節目となりました。今まで循環器診療を中心にいくつかの病院でお世話になってきま

した。それぞれの病院で様々な経験を積み重ねてきましたが、また新たな気持ちで勤務させていただこうと思っております。

赴任してまだ一ヶ月になったばかりですが、はじめて出会う症例も経験し、カンファレンスも充実しており、私自身非常に楽しく過ごしています。呼吸器科疾患は今まであまり経験なく現在必死の研鑽中のため、しばらくご迷惑をかける日々が続くものと申し訳ない気持ちです。とにかく今はまず出来る事から少しずつ着実にと考えています。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。



# ●● 松江病院の元気宣言！ ●●

事務部長

ひさ  
久もり  
森つとむ  
勉

## 今は『トビウオ（あご）』が旨い！

トビウオは『島根県の魚』に選定にされているように全国3位の漁獲量です。

胸ビレを広げて海上に飛び出し、海面スレスレを勢いよく滑空し、飛距離は100～300メートルとされています。主題の食べ方ですが、鮮度がよければ、ぜひ、刺身がよろしいです。脂肪分が少なく淡泊で上品な味です。小骨が多いですが塩焼きもよろしいです。また、すり身にした大きな竹輪のあご野焼きは島根県の名産品として特に有名です。先ごろ、行きつけの居酒屋でトビウオのハンバーグを食べましたが、ポン酢をかけて和風味でいただき、美味しさのあまりビールの本数が増えていきました。当院もトビウオのごとく、大きく飛躍すべく職員一同が毎日の業務に頑張っています。



## 医事職員はピンク色に一新しました！

当院の医事業務は委託業務として業者と契約していますが、平成18年度の契約において、制服についてもより明るい服装で患者様と接することを交渉の場で要望し、



ピンクでイメージ刷新

ピンク色のカーディガンで統一しました。従来のカーディガンは黒色であり、文字どおり暗いイメージがありましたが、ピンク色に一新したことにより明るさが倍増し、委託職員も明るい雰囲気を出し患者サービスに努めています。

## 草刈り奉仕活動に感謝

4月29日（土）に院内全域において、毎年の恒例行事になっております某団体の草刈りの奉仕活動が行われました。当日は気持ちのよい晴天に恵まれ、子供さんを含めて450人余の多数の参加者が、院長先生のお礼の挨拶に続き、代表者の合図にて一斉に作業を開始しました。みなさんは手に鎌を持ち額に汗をにじませ黙々と作業をさ

れていました。お陰様で雑草は綺麗に刈り取られ病院も『べっぴんさん』になりました。毎年の奉仕活動に大変感謝しております。

## タヌキを捕獲する！

病棟から『夜間に小動物らしき動物が徘徊しているの、何とかしてほしい！』との要請が管理課にありました。早速、管理課職員が出動し猫捕獲器（スーパーキャッチ）で捕獲しましたが、これが、何とタヌキでした。病院の裏山から迷って出てきたのでしょうか、職員が裏山まで運んで解放してやりました。タヌキのお父さんとお母さんがさぞや心配したことでしょう。



## トマトとナスびさん、大きくなって！

ある日、重心病棟の庭で、指導員と保育士が一生懸命に土を耕していました。



足を止めて見ますと、トマト4本ナスび4本の苗を植えていました。皆さんは顔の汗を拭きながら、毎日、水をやり大きく実が熟したら『患者さんと一緒に食べることを楽しみにしています』と笑顔で言っていました。



## 朝顔が咲くのが楽しみです！

本格的な夏の到来です。夏の花といえばやっぱり朝顔ですね。当院管理診療棟の職員入り口に、職員がボランティアで朝顔を植えました。毎日、朝早くから水を丁寧にかけています。壁にネットを張って朝顔がつつぎと咲くのを楽しみにしています。咲いた朝顔を見ながら、皆さんはすがすがしい気持ちで出勤されることでしょう。



朝顔は遣唐使の奈良時代に薬として中国から渡来しました。鑑賞花として奥深いものがあります。

# 外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成18年7月17日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器科	矢野	小林	徳田	唐下	池田		【呼吸器科】 竹山 博泰 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 徳田 佳之 唐下 泰一	【特命副院長】呼吸器一般・アレルギー 【診療部長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 呼吸器一般 呼吸器一般(結核・睡眠時無呼吸症候群他) 呼吸器一般 呼吸器一般
	唐下	徳田	池田	矢野	小林			
循環器科	石川					石川	【循環器科】 石川 成範	循環器科一般
神経内科		下山		足立				
外科	徳島		中井 目次			荒木	【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二	神経内科 神経内科・リハビリテーション
小児科	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 (予約)		
発達専門外来	齋田	久保田	久保田	齋田	久保田		【外科】 中井 勲 徳島 武 目次 裕之 荒木 邦夫	【院長】呼吸器外科・一般外科・胸腔鏡下手術 【副院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術(肺がん・自然気胸他) 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
予防接種		(予約)						
肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香	重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
睡眠時無呼吸外来				呼吸器科担当医(予約)				
息切れ外来		呼吸器科担当医(予約)					【放射線科】 鈴木 資樹	放射線治療
喘息アレルギー外来		竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)			
慢性咳嗽外来		竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)		【診療時間 8:30~17:15】 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 7:30~11:00	独立行政法人国立病院機構 松江病院 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話・FAX (0852) 24-7661 URL <a href="http://www.hosp.go.jp/~matsue/">http://www.hosp.go.jp/~matsue/</a>
禁煙外来		竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)			
アスベスト外来		竹山 小林 (予約)	竹山 徳田 (予約)	竹山 唐下 (予約)			シンボルマーク	
嚔下障害外来		下山 (予約)						
神経難病外来		下山 (予約)			足立 (予約)			
筋ジストロフィー専門外来					下山(予約)			
セカンドオピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけ、などの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～16:30 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,250円(税込み)
睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
喘息アレルギー外来	診療日：毎週火・水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本アレルギー学会専門医・指導医が担当) 内容と特色：成人気管支喘息・花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
慢性咳嗽外来	診療日：毎週火・水・木 9:00～12:00 (要予約) (咳嗽研究会会員が担当) 内容と特色：3週間以上長引く、咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。声楽家・アナウンサー・教師など声を重要な手段とされる方の悩み。
禁煙外来	診療日：毎週火・水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色：禁煙を志す方の検査、診断と相談に応じます。
アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行う。
嚔下障害外来	診療日：嚔下障害外来(要予約) 毎週火曜日 8:30～
神経難病外来	診療日：神経難病外来(要予約) 毎週火・木曜日 8:30～
筋ジストロフィー専門外来	診療日：毎週木曜日(予約=指導室まで) 8:30～ 内容と特色：筋ジスト病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。
セカンドオピニオン外来	診療日：完全予約制(紹介状必須) 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジスト)の専門医(医長)が担当致します。